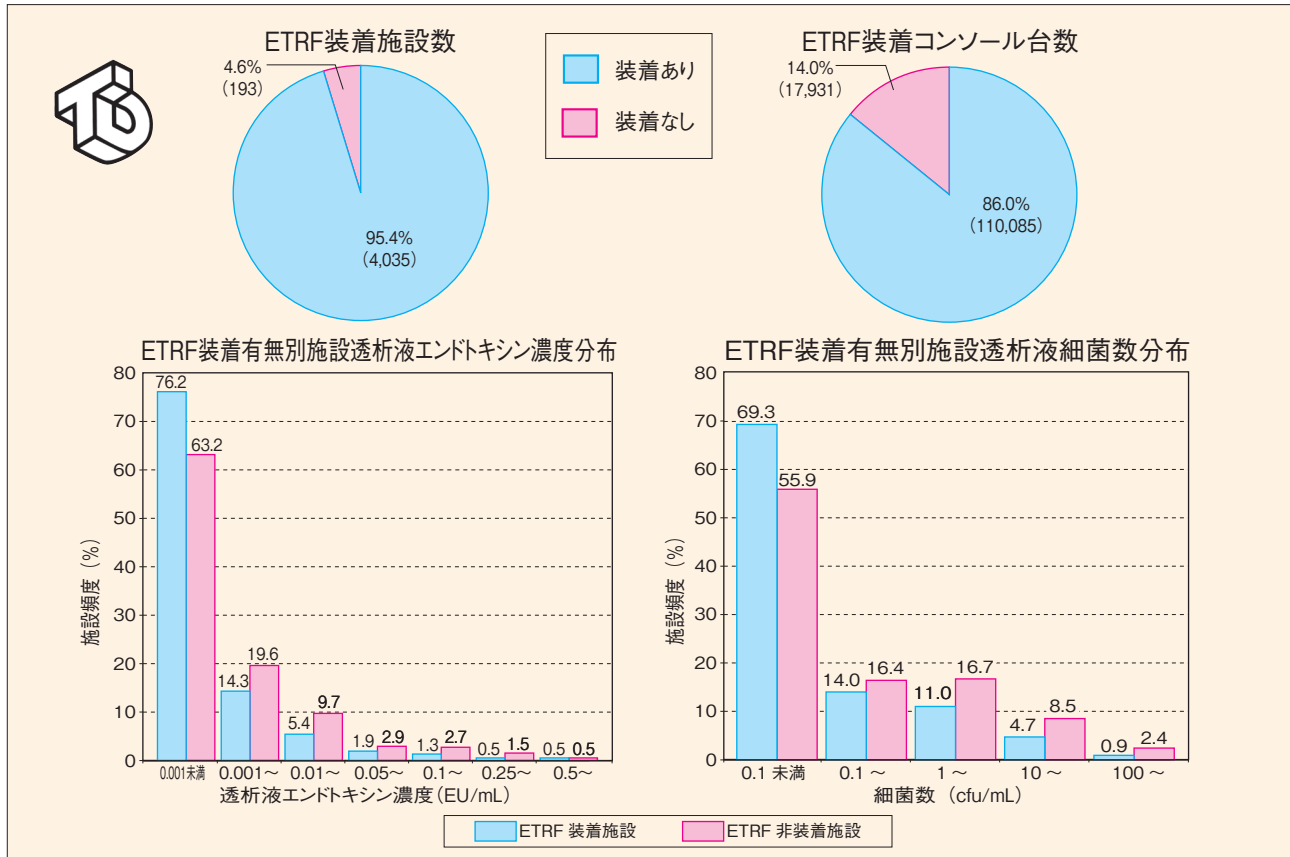


# 1) 透析液水質管理状況

## (3) エンドトキシン捕捉フィルタ (ETRF) 装着状況 (図表31)



ETRF装着	あり	なし	合計	記載なし	総計	ETRF装着	あり	なし	合計
施設数	4,035	193	4,228	6	4,234	コンソール台数	110,085	17,931	128,016
(%)	(95.4)	(4.6)	(100.0)			(%)	(86.0)	(14.0)	(100.0)

透析液エンドトキシン濃度 (EU/mL)	0.001未満	0.001~	0.01~	0.05~	0.1~	0.25~	0.5~	合計	不明	記載なし	総計
測定時のETRFあり (%)	2,520 (76.2)	472 (14.3)	177 (5.4)	62 (1.9)	43 (1.3)	17 (0.5)	17 (0.5)	3,308 (100.0)	30	2	3,340
測定時のETRFなし (%)	419 (63.2)	130 (19.6)	64 (9.7)	19 (2.9)	18 (2.7)	10 (1.5)	3 (0.5)	663 (100.0)	65	21	749
合計 (%)	2,939 (74.0)	602 (15.2)	241 (6.1)	81 (2.0)	61 (1.5)	27 (0.7)	20 (0.5)	3,971 (100.0)	95	23	4,089
不明 (%)	20 (62.5)	5 (15.6)	1 (3.1)	2 (6.3)	0 (0.0)	2 (6.3)	2 (6.3)	32 (100.0)	53	6	91
記載なし	1	0	0	0	0	0	0	1	1	52	54
総計 (%)	2,960 (73.9)	607 (15.2)	242 (6.0)	83 (2.1)	61 (1.5)	29 (0.7)	22 (0.5)	4,004 (100.0)	149	81	4,234

細菌数 (cfu/mL)	0.1 未満	0.1 ~	1 ~	10 ~	100 ~	合計	不明	記載なし	総計
測定時のETRFあり (%)	2,203 (69.3)	446 (14.0)	349 (11.0)	150 (4.7)	30 (0.9)	3,178 (100.0)	121	41	3,340
測定時のETRFなし (%)	348 (55.9)	102 (16.4)	104 (16.7)	53 (8.5)	15 (2.4)	622 (100.0)	95	32	749
合計 (%)	2,551 (67.1)	548 (14.4)	453 (11.9)	203 (5.3)	45 (1.2)	3,800 (100.0)	216	73	4,089
不明 (%)	15 (55.6)	5 (18.5)	4 (14.8)	2 (7.4)	1 (3.7)	27 (100.0)	57	7	91
記載なし	1	0	0	0	0	0	1	52	54
総計 (%)	2,567 (67.1)	553 (14.4)	457 (11.9)	205 (5.4)	46 (1.2)	3,828 (100.0)	274	132	4,234

施設調査による集計

### 解説

ベッドサイドコンソールを1台以上有する4,234施設のうち、エンドトキシン捕捉フィルタ (ETRF) の装着について、4,228施設 (99.9%) から回答が得られた。95.4%の施設においてETRFは1台以上のベッドサイドコンソールに装着されていた。回答のあった4,228施設にある総計128,016台のベッドサイドコンソールの86.0%にETRFが装着されており、2012年末より2.6%増加した。

ETRFを使用すれば理論的に超純粋透析液を達成できるが、エンドトキシン0.001EU/mL未満、細菌数0.1cfu/mL未満を達成できない場合は、原水の高濃度の汚染、2次汚染、ETRFの汚染、サンプル採取のコンタミネーションなどの理由があり、透析液水質管理方法の見直しが必要である。これに該当する施設はエンドトキシンにおいては26.1%、細菌数においては32.9%であった。サンプル時のETRF有無別に見てみるとETRF装着ありの施設で標準透析液の指標であるエンドトキシン0.050EU/mL未満、細菌数100cfu/mL未満を達成できていない施設は、それぞれ4.2%、0.9%であった。逆にETRFを使用していなくても超純粋透析液の基準を満たす施設はエンドトキシンで63.2%、細菌数で55.9%あった。透析液供給システム全般での透析液浄化技術の進歩が示唆される反面、ETRFの取り扱いに問題があり透析液が汚染している場合が少数あることも示唆された。